

第V章 自由回答

最後に、埼玉県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についてご意見やご要望等がございましたら、ご自由にお書きください。

県の男女共同参画の推進に関する施策や男女共同参画社会についての意見や要望に対して、女性 133 人、男性 116 人、性別無回答 9 人、合計 258 人から、273 件の回答が寄せられた。

ここでは、意見や要望を内容ごとに分類し、その一部を掲載する。

なお、一人の回答が複数の内容にわたる場合には、原文の内容の趣旨がそこなわないよう回答を分け、それぞれを 1 件として分類している。また、掲載については、なるべく多くの方の意見や要望を掲載するため、回答の文中から一部抜粋した場合もある。

【男女共同参画について】

◎男女同権の対応として大切なこと（企画、組織）で、常に県民の意向に気配を望む

（男性／70 歳以上）

◎男女平等を推進している世間ではあるが、一般的に身体づくり、考え方などが異なるから、完全な男女「平等」は難しいのではないか。それよりはそれぞれの得意分野などが活かせることが、本当の意味での「平等」にあたるのではないか。各人が個性を活かせるような地域・社会・国となるように働きかけていただきたい。

（男性／20 歳代）

◎男女平等の意味が本当にどういう意味か、社会に共通の定義ができていない。「平等」と言うから「同じに扱う」と間違えやすい。異なる部分をもっと積極的に理解し合う事が必要に思う。

（男性／70 歳以上）

◎男女平等の社会づくりは、なかなか難しくハードルが高いと思います。男・女問わない実力主義になるような世の中になることを望みます。

（女性／50 歳代）

◎学校教育の中で、男女関係なく、“一人暮らしの仕方”を教えてあげてほしい。日々母や親がやってくれている掃除、洗濯、食事がいかに大切なことかが分かれば、男女の性差に関係なく相手を思いやる生き方ができると思う。男の人は、生活力なく何も知らずに働いていることが多いのが、おかしい。

（女性／30 歳代）

◎男女共同参画って何だろうから始まって「With You さいたま」の公報誌を読んだり、講演会に出向いたり、と数年してみました。私は男女共同参画とはパートナーと良く話し合っ

てその時その場に合ったお互いの立場を理解して気持良く生活してゆくことだと思っています。

（女性／60 歳代）

第V章 自由回答

- ◎とにかく、男女が公平に能力を評価され、活躍できるしくみ、ルールを作る事が大事である。
(男性/60歳代)
- ◎看護師や保育士には男は必要ない。女性にだけしかできない専用の仕事があっても良いと思う。
以前のように看護婦さん、保母さんで十分。何でもかんでも男女平等にする必要はない。お互いに仕事がやりにくい状況が多くある。私の妻も同意見です。
(男性/60歳代)
- ◎頭でわかっているけど実行に移すのはむずかしいと思います。
(男性/70歳以上)
- ◎男女共同、男女平等とうたいながら、結局女性を優位にしようとする動きが目立つ。真の男女共同とは「男」「女」の文字すら使うことなく表わせられるものではないのか。
(男性/30歳代)
- ◎男性と女性の、特性は違うので、それぞれに適した部分を担って欲しい。家事・育児は、女性がやるべきという男性の意識は高く、核家族で、親の協力のない家庭に、その状況は厳しい。女性の負担は多い。しかし、男性には存分に仕事に力を発揮できる家庭環境を提供したい。
(女性/50歳代)
- ◎男とか女とかではなく、おたがい1人の人間としてどうあるべきかということを対峙しながら人生を生きていくことが重要だと思います。
(女性/60歳代)
- ◎少子高齢化が進むにあたり、生産人口を増加させる為には、女性の社会進出は、重要である。その為には、男性優位や女性優位の体制は、あまり好ましくなく、いかなる場合でも、平等である必要がある。その実現の為には、研修などを通じて、社会（職場、学校等）への教育が必要となる。その活動に対して、埼玉県をサポートが、重要な役割となる。
(男性/40歳代)
- ◎現実には共同参画社会とは程遠い気がします。家庭・学校における教育に始まり、女性が自信を持って自分を生かし、自ら経済の自由さも合わせ持ち、一生を有意義におくれる事を願います。配偶者の有無に関わらず、日々の生活の中で、女性自身が夢や希望をあきらめず生きていくことのできる社会の誕生を望みます。
(不明/不明)
- ◎女性蔑視の風潮の世の中で、男女平等の実現は難しい。事後対策だけでなく、根底にある個人の考え方（人権尊重）に関する教育の実施が重要。次世代に頼るのではなく、大人が自ら手本になって。男女平等の定義については、性別、個人適性を考慮に入れて行わないと、逆に男性蔑視や行政上の強要など、弊害が生じかねない。
(男性/40歳代)
- ◎具体的に現在どのような動きをしているのか、分からない。保育園にしても優遇措置を受けているのではと公務員の人に対して疑問を感じる事も、どこかで公平ではない社会が、男女間に限らずあるのではないのでしょうか。
(女性/60歳代)

◎男女が対等というのは、まずないと思っています。それぞれの個性は大切です。それを活かす事が良いと思っています。男女共同参画の気持ちは大切ですが、決めつけは反対です。

(女性/40歳代)

◎多様化してきている男女の考え方、自分がどうしたいのか軸を持ち行動した上で相手も尊重できる社会になるとと思っています。

(女性/30歳代)

◎今回このような調査に協力させて頂き、改めて考えさせられる内容でした。自分の中で理解できていない法律もあり、勉強にもなりました。今後、注目したい課題の1つにします。

(女性/40歳代)

◎若い世代になればなるほど男女間の差別（特に家庭内）はなくなってくると思います。老後に不安があり（経済面）年金もあてにならない現状、女だから、男だからという考えは捨て互いに協力して生活していく事が大切だと考えます。

(男性/40歳代)

◎男女共同参画について知らない法律ばかりだったので学ぶ機会が必要だと感じました。自分で調べるなりして理解を深めたいと思います。

(女性/20歳代)

◎夫婦共働きがあたりまえの世になってきています。その陰で寂しい思いをしている子供達が増えているのではと気がかりです。

(女性/60歳代)

◎同年代までの世代に根強い男女不平等の考え方があり、若い人との差があると思います。70才以上の方達には男尊女卑を当然として、女性が女性の足を引っばるし、女性の正しい意見を受け入れない男性が多いようです。若い人には多くはないですが、まだまだ社会的には男性優位だと思います。頑張っ平等にしていきたいと思います。

(女性/60歳代)

◎男女共同参画に関して自分自身、意識の低さをとても感じました。年を重ねても色々なことに感心を持って社会貢献出来たらと思いました。

(女性/70歳以上)

◎働きたい女性は働けば良いですし、それに対する、国、地方自治体の協力は必要だと思いますが、自分は専業主婦として家を守り子育てをして欲しいと思うので、無理に男女を平等にする必要はないと思います。それぞれの役割があると思いますので。

(男性/30歳代)

【子育て・介護について】

◎「男女の対等」、「夫・妻の対等」、「父親・母親の対等」が重視されている状況では、本来最も重要である『子どもが育つ環境』についての問題・課題を見失います。子育ての重要な時期に経済的な保障の欠如による、『子育て時間不足』が深刻なように思います。「子どもたちは、誰にそばにいてほしいのか。」を考えると、同時に男女の対等はそれより優先される課題なのだろうかと考えさせられます。

(女性/30歳代)

- ◎育児や介護に協力してほしいけれどもお金がないから休業なんてしてもらえないと思います。男性は仕事しているだけでOKだけどどこまで時代がすぎても女の方はやる事いっぱい大変です。(女性/50歳代)
- ◎地域や社会全体で子育てをする環境がもっと整わないと子育ては難しいと思います。安心して働けるよう、会社も協力してくれるようになると家庭もストレスがなくなり虐待もなくなるのではないかと思います。(女性/40歳代)
- ◎子供のいる世帯への税金の減額や給与へ手当をつけないといけないような制度や、介護をする側の世帯への優遇措置などをもっと充実させるべきかと思います。子育て、介護は、女性への負担がまだまだ多く、世帯に対しての優遇措置を充実させていけない限り女性が参加する社会は難しいかと思います。(男性/20歳代)
- ◎働き方について男女平等、とても大切な事と思いますが、実際子どもがいると（特に小さいうち）男性と同じだけ働く事、責任ある立場で働く事は難しいです。どうしても子供は母親の方に来るので。それよりも、子育てしながら働けるように、保育園の充実や短時間勤務のパート・アルバイト先がもっとあったらなと思います。自分は個人事業主で在宅で仕事していますが、（保育園にどこにも入れなかったの）そういった職場がもっと増えると、子育て中の家庭は大変助かるのではないのでしょうか。平等にこだわらず、それぞれに合った働き方を選ぶ選択肢が多い方が理想と思います。(女性/30歳代)
- ◎女性は、子どもを産んだり、育児したり、するのは当たり前だと思う。自分の子どもなのだから、保育園や夫に任せずに自分で育てたいと思う女性も多くいると思う。男女平等を訴えられるのは、女性にとって負担になることもあると思う。時短勤務をずっと続けられる制度があれば良いと思う。フル勤務（夫婦で）で子育ては難しい！(女性/20歳代)
- ◎子供が産まれてもしっかり補助金があれば、女性は働かなくていいのでは？男性の給料が安いから、母も働かないといけない。子供がいない家庭からは、税金をもっととるべきだ。（不妊治療者は除く）子供作らないで、2人でのいるだけなんだから。(女性/30歳代)
- ◎子育ての大変さを、男性ももっと理解するべきです。働いていなくても子育てを1人するのは大変です。1才すぎたら、誰でも保育園に預けられるようにして、親は負担の少ない時間で、パートでもいいので、働けるようにした方がよい。それが、親のため、子どものため、社会のためになると思う。保育園の延長料金は、18:00～ではなく、18:30～にするべきです。フルタイムで働く女性を苦しめてばかりです。(女性/30歳代)
- ◎男性の育休取得がもっと当たり前になるとよいと思います。どうしても育児は女性に偏りがちです。土、日に父親が子どもと遊んでいる姿はたくさん見ますが、それだけ男性は土、日しか子どもをみれないのが現状です。産前、産後の1ヶ月だけでも男性が育休を取得することに寛大な社会を望みます。(女性/30歳代)

【意識改革・啓発について】

- ◎性差や障害の有無に限らず、各々が主体性をもって人生を選択できて、自己実現できる社会になれば良いと思います。
(女性/40歳代)
- ◎単に機会を法律で設けるのではなく、男女の差を理解した上で「現状がなぜそうなっているのか」について深掘りして考えることが必要だと思います。
(男性/30歳代)
- ◎精神的に傷つけるような行為はやった本人がそうだと気付かない事が多いと思うので、「アレ？これは自分もやったな？…」と気付かせる必要があると思います。
(女性/50歳代)
- ◎最近、人づてにホームページを知りました。もっと早く知っていればと思いました。宣伝活動が足りていないのではないのでしょうか。
(女性/40歳代)
- ◎県民一人一人に意識させるプロモーションが必要 皆が意識しないと実現しない。
(男性/40歳代)
- ◎職場において感じる事、女性側の意識改革も必要だと思う。何故なら、男性側は男女平等という概念を常に意識して職務に当たっているが、女性側はと言うと「都合の悪い時は、“私は女性だから…”」と言って引っ込みしてしまう時があれば、都合の良い時は“男女平等だから…”といいとこ取りになっている。男性側はそんな選りすぐりは不可能である。この「私は女性だから、主婦だから…」という言葉が武器に選りすぐりをするのは如何なものかと思う。
(男性/50歳代)
- ◎特に高年齢の男性の意識に男女差別が見られる。(役職者・経営者から意識改革が必要と思います。)
(男性/60歳代)
- ◎自治会の活動の中心となる老人たちには男尊女卑の考えが根強いので、各自治体が教育を行ってほしい。
(女性/40歳代)
- ◎With Youさいたまの活動も全く不明です。色々な働きかけを目に見える形で知らせて欲しいです。
(男性/50歳代)
- ◎女性は産む性であり、出産の前後はどうしても弱い立場であると思います。だからこそ、生命を産み育てる女性を大切にしよう、尊重しようという意識教育が不可欠だと思います。女性や母親が笑顔で生活できる社会は平和ー暴力とは程遠いと思います。
(女性/50歳代)
- ◎基本的には個々の意識の変革が必要だと考えます。制度を充実させても個々により被害を被ると思います。極端な取締をするのもありかと思いますが、なかなか詳細の立証は難しいのではないかと言う思いもあります。
(男性/40歳代)

◎年配の方々の考え方がもっと柔軟になったら、さらにより良い男女共同社会になると思います。
(女性/50歳代)

◎職場でもこのキーワードはよく見聞きしますが、説明しなさいといわれるとうまく説明はできません。言葉尻が固く、分かりづらいので、もう少し分かりやすい平易な言葉の表現になるともっとたくさんの人にわかってもらえるのではないのでしょうか。
(女性/40歳代)

◎私は職場学校での男女の格差について、皆の概念から変えていくべきだと思います。
特に、職場における問題(例えば、賃金格差、管理職、休暇など)は行政機関から変えていけば民間の企業も変わっていくと考えます。
(男性/20歳代)

◎どんな活動をしているのか実態がわからないので、広報誌等で周知が必要。
センターに行ってみようと思えるきっかけ作り、話し合いの場を設ける。
(男性/40歳代)

◎是非社会へ出る前の子ども達に、学校などで、男女共同参画社会について教える機会を持ってほしいと思います。大人になる前に、学校で教わることは、子ども達にとってわかりやすく受け入れやすいことだと思うからです。
(女性/50歳代)

◎意識を持たせること。現実の生活に追われている人が多い。労働時間が守られている人は何%いるのか?法定条件が利用できる人は何%いるのか?
(不明/不明)

◎女性の意識であると思います。女性だから男性だからではなく、人としての問題だと感じています。昔にくらべ子育ての環境が良くなっているのに働かない人が多いです。子供に留守番やカギを持たせて学校に行かせたり、子供が病気の際は家で寝かせて仕事に行きました。今は公的サービス民的サービスも多くあり、今の私からみれば子供に大変な思いをさせたり、かわいそうな思いをさせてしまったと思う事もあります。逆に公的サービス民的サービスを利用し子育てや女性の社会参加が出来良かったという事をアピールする場面も必要。女性の意識改革をして欲しい 行政での金銭的サポートがありすぎて働かない人も多いです。(女性/50歳代)

【社会制度について】

◎立派な法律を作っても、チェック機能が働いていない。又、管理されていない。推進部門は机上の仕事が多く、上記の機能を充実させて、初めて、社会に浸透する。(男性/70歳以上)

◎女性が、出産後、社会復帰する際、受け入れる側の体制が十分に整っていないと、十分に力を発揮してもらえないので、法律あるいは、各法人の規則の見直しが必要と感じる。
(男性/60歳代)

- ◎高学歴で何でも出来る人間でも学科によって就職口がない。公的な場所で能力を生かして働ける場がほしい。30歳代～40歳代の現在の状況を調べて無職の人々に職を与えてもらいたい。もったいない事と思っている。(女性/70歳以上)
- ◎共同推進センターについて、女性の参加が多く男性は利用しにくい。(男性/70歳以上)
- ◎性差別や職場でのハラスメント等、昔からあったと思いますが、立場が強い人や上の人に対して、中々、苦しい事、辛い事が言えないような人が、たくさんいると思います。職場でも学校でも、気軽に相談できたり、話を聞いてくれる所が、あると助かると思います。勇気を持たなくても、ほんの少し目に留まる所に窓口や機関があると安心できると思います。よりよい社会になれるといいです。(女性/40歳代)
- ◎義務教育の中で、学問ばかりを重視せず、生きていく上での社会の教育をもっと受けられるようになって欲しい(女性/50歳代)
- ◎産後すぐに仕事を開始した女性に対し上司(男)が「他の人とは違う、やる気がある」と言っており復帰時期でやる気の良し悪しを判断していたことにショックだった。産後の体は人それぞれ異なること、女性たちが悩みながら働いていることに理解がない。(女性/30歳代)
- ◎ネイルサロンを経営していて、女性活躍の場は提供している。でも逆に「そんなに働きたくない」、「店長にするから」と言っても2ヶ月後に妊娠して「辞めます」と。「体調が大丈夫なら働いていいんだよ」と言っても辞めていく。ガツガツ働きたい人がいない気がする。税金、年金の壁も大きい。いつ辞めると言われるかビクビクしている事もあります。時間も融通きかせていますが…(女性/40歳代)
- ◎モラハラで悩んでいます。家を出たいが、子供(2人)を置いては出ていけません。離婚してくれないので、子供と3人で暮らす経済力はありません。周りにも悩んでいる人がいると思います。今回、配偶者暴力相談支援センター等、知る事ができたので、助かりました。ありがとうございます。(女性/40歳代)
- ◎男女平等も大切な事と思いますが、子供の頃から、自分より幼い子や、力の弱い人、お年寄りなどにやさしく出来る、あたり前の道徳心を教育の中で学校、家庭共に、しっかりと教えたいものです。(女性/50歳代)
- ◎私は結婚後は家事と育児に専念したいと子供の頃から望んでいましたし、現実もそうです。外で働きたいのに、男女不平等により働けないという不満を持った事は一度もありません。専業主婦=無職と言われた事もありますし、子供から手が離れてパートもアルバイトもしていない事が分かると「何故？病気の？」と、外で働かない理由を必ず聞かれます。このアンケートも「今まで以上に外で働く機会を望むべきだ！と全ての女性が言わなければダメですよ」と強要されている様に感じるのは私だけでしょうか。(女性/40歳代)

◎医学部の大学入試問題の報道を見るとまだまだ女性蔑視がある事を強く感じます。私は教師の仕事而定年まで続けることができました。女性が安心して出産することができ、その後復帰して定年まで仕事が続けられるような職場や職種を増していくことが日本の発展に繋がると思います。何より夫婦間の理解、協力が大事だと思います。(女性/60歳代)

◎女性管理職を増やすため多数の女性に対し研修や昇進したりしているが時短だと声が掛けられない。時短する前後で同じ成果を出しても評価が下がる。時短なので下げたという明確な返答もなく、仕事のモチベーション下がる。次子も欲しいが仕事の評価が下がり続けることを考えると迷う。(女性/30歳代)

◎結局、末端の職場に上の考えが浸透することはないと思う。大学を出ても女性は家庭があり、満足のいく社会活動をしようとする自身への負担が大きすぎ、現状に合わせるしか、自分を守る術はない。(女性/30歳代)

◎上層部の考え方が変わらなければ、どうにもならないと思う。時短勤務をやっても、持ち帰りや労働奉仕が増え、育児の時間を捻出できるのか不明。男女平等を唱っても、元々不変な理があり、それを社会が、どう受け止めていくのか高レベルを目差しているため、どこかにしわ寄せは出てくると思う。(不明/不明)

【行政施策への要望について】

◎充実した人生、暮らしへ向けてのB a c k u pを期待しています(男性/70歳以上)

◎埼玉県は人口が、ふえてきているのに、学校や町会など、昔のやり方が残っていて、女性が駆り出される事が多すぎます。又、新しいやり方や意見を聞かないお年寄りも多く、何事にも遅く、もう少し、スピード感をもち、色々な事を決め、結論を出し、より良い町、県になってほしいです。(女性/40歳代)

◎男女共同参画の推進については、働き世代への税制優遇拡大等、税制改革が一層求められると考えます。地方行政についても、同様に、税制改革が一層求められると考えます。本実態調査の質問・回答(選択肢)については、実情との乖離が多く適切な、調査、見直しが必要と思います。(男性/40歳代)

◎国を動かして学校教育の中で徹底的に男女平等を公平・公正ガラス張りにして教え込んで下さい。頭の中で理解しても実際に行動を伴わないと意味がありません。又、県市町村議員の数が女性比率が少なすぎます。いかにして女性議員の数を増やすか、県庁・関係者各位で考えていただきたいと思います。(公平・公正は、基本)(男性/60歳代)

- ◎まず公務員から（県職員&市職員）からお手本を！ （女性／70歳以上）
- ◎男性がやるが多かった事、女性がやる事が多かった事、それぞれをどちらがやっても普通なんだという風潮を世の中が植えつけないとお互いが身に付かないと思う。政治が、社会が、そういう雰囲気を作っていくのを望みます。 （女性／50歳代）
- ◎保育士さんの給料をもっと上げるべきだと思う。公立学校の教師並にすべき。 （女性／40歳代）
- ◎一般企業に勤めている友人達の話をおくと公務員とは、ある程度平等な社会であると感じます。ただ、権利を主張して周りの状況を考えない人は、困ってしまいます。これから社会へ家庭を持つ人が生きやすいよう教育や施策をお願いします。 （女性／50歳代）
- ◎県の施策だけを忠実に実行してゆく以外に地域に見合った独自の施策を積極的に取り入れてゆくべきだ。 （男性／70歳以上）
- ◎施策や拠点が形骸化しないように、見直し、改善をしていただきたいです。市民に意識はあっても、施策を取り扱う県行政に男女差異があれば、共同参画が醸成されない。 （女性／40歳代）
- ◎男女平等の考え方を持っていない企業は、まだ数多くあると思うので、企業に対してもっと働きかけて欲しいと思います。育児短時間勤務を取得しましたが、仕事量は通常勤務の人と変わらず取得を途中で中止しました。いくら制度を設けていても、取得に対する配慮に欠けている企業は存在すると思います。表面上だけの男女共同参画社会の充実にならないよう国や県の公共の機関が働きかけていくことを願います。 （女性／40歳代）
- ◎男性よりも女性の意識改革が必要と感じている。社会進出をあきらめたりする傾向は、自分たちで打破していかなければならない。実際に壁につきあたっている人々の声を十分拾って、政策にいかしてほしい。 （女性／50歳代）
- ◎国や県が男女共同参画について、国（県）民に積極的に働きかけ仕組みづくりをしてほしい。 （男性／50歳代）
- ◎男性、女性の間考え方の違い価値観のずれは年代によってもかなりの開きがあると思うので、その開きを細かく、聞きとり、その差を埋めていけるような、社会を職場を家庭を築けるよう先頭に立って働きかけていただければと思います。よろしくお願ひ致します。 （不明／不明）
- ◎最近の少子高齢化の中で労働力の減少を無くすためにも法律や制度上の見直しを検討し、女性の活用を重視した社会にしてほしい。 （男性／60歳代）